



ラダックに暮らす人々。「奥地まで足を運んで支援してくれるのはありがたい」

## 急速な近代化が生み出すひずみ

インド最北端、ヒマラヤ山脈のふもとに「秘境」と呼ばれる場所がある。ラダック地方。青く澄んだ空の下、3000〜7000メートルの高山が連なり、冬はマイナス20度、地域一帯が雪で閉ざされる。40年ほど前までは、中国、パキスタンとの国境紛争の影響で治安が悪く、外国人の立ち入りが禁じられていた地域だ。



国際協力の担い手たち

# NPO法人ジュレー・ラダック

## 太陽光で自然に優しい生活を

近代化に伴い、伝統的な生活が失われつつあるインド北部のラダック地方。NPO法人ジュレー・ラダックは、この土地の人々と共に、自然と調和した生活を取り戻すべく奮闘している。



光を効率的に集めて調理。炒め物も煮物もでき、パンも作れる



JICAのアドバイザー派遣制度を活用し、ソーラーキッチンが村人の役に立っているのかを共同調査。村のニーズに合った適切な支援だと再確認できた

そんな陸の孤島に暮らす人々がいる。「ジュレー（こんには）！」誰もが気さくに、優しい笑顔であいさつを交わす。「私たちは、牛やロバ、ヤク、馬、羊、鶏などの動物たちと暮らしてきました。畑仕事の労働力としてはもちろん、ふんを肥料に使ったり、肉を食べたり、毛皮を衣服として使ったり、自然の恵みに支えられた生活でした」。そう話すのはラダック出身のスカルマ・ギルメットさん。外の世

界から孤立していても、自給自足の生活が成り立つ「循環型」の社会。それが、ラダックの誇るべき伝統だった。「でもその暮らしが大きく変わってきたのです」とスカルマさんは顔をゆがめる。1970年代、インド政府がラダックを観光地として解放することを決定。この土地を近代化させようと、開発の波が押し寄せた。「道路ができて、電気が通って、生活は便利になり始めましたが、そう事はうまく運びませんでした。これまでも

## 自然エネルギーでラダックの伝統を見直す

目指すのは、ラダックの伝統を保ちながら、近代的な技術をバランスよく取り入れること。そこでスカルマさんが目を付けたのが太陽光だった。太陽の熱エネルギーをうまく活用できれば、寒さの厳しいラダックで人々の助けになる。環境にも優しい。ラダックは年間300日が晴れ。これを生かさない手はない。

そんなことを考えながら、ラダックに里帰りしたスカルマさんは地元でNGOを訪れた時、銀色のパラボラアンテナのような物を目にする。中心には、なぜか傘が。傘の部分が太陽光を反射させ、中心に熱を集めていた。「正直、こんなもので調理ができるのかと。でもかまどに新聞紙を入れてみたら、ポツと火が付いたんです」とスカルマさん。「これだ！」と思った。

早速、このソーラーキッチンを普及させようと動き出す。まず対象にしたのが、ラダックの中でも特に標高の高い村々。近年の開発の影響が少ない地域で、冬の寒さが特に厳しく、熱エネルギーを最も必要としていた。

しかし、ここは山岳地帯。道路が整備されておらず、そう簡単には近づけない。ロバに乗り、急な坂道を歩き、2、3日かけてやっとたどり着く。「そんな奥地まで支援できるのは、土地勘のあるジュレー・ラダックの強みです」



JICA基金で設置されたソーラーウォーターヒーター。太陽光で温められたガラスの管に水を流して温水にする

とスカルマさん。村人たちの自主性を引き出すため、ソーラーキッチンも彼らにも費用の一部を負担してもらおうとした。

これまで12の村で約170台を設置。「簡単にお湯を沸かせるから、寒い冬でも体を洗える」「簡単に動かしているんな場所です」。そんな喜びの声が上がっている。

さらに「世界の人びとのためのJICA基金」※を使って、太陽光を当てることで一回に100リットルのお湯を沸かせるソーラーウォーターヒーターも10カ村に導入した。太陽光を通じて、自然を大切にしようという伝統が少しずつ、そして確実に、よみがえってきた。

自然エネルギーを使うことで、自分たちの生活を見つめ直してほしい。そんなスカルマさんの思いが村人たちに届き、今、ラダックが生まれ変わるうとしている。



村人たちに自然と共存しながら暮らすメリットについて語るスカルマさん

かつてプラスチックなどのごみが増えたり、新しくできた発電所から油が漏れ出したり。農業でも機械や農薬などが次々と導入され、自然と調和した生活は崩れていった。ラダックの伝統的な生活を取り戻したい。スカルマさんは現地で環境保護などのボランティア活動に参加。そんな中、一人の日本人女性との出会いをきっかけに来日。この縁で、日本人々と協力して地元ラダックを救いたい。2004年、日本でNPO法人ジュレー・ラダックを設立した。

※国際協力に関心のある一般の方からの寄付金を、開発途上国の貧困削減や環境保全などの取り組みに活用する制度。詳細はホームページ(www.jica.go.jp/partner/private/kifu/index.html)を参照。